

### 銃剣道 (競技支援及び県代表として参加)



表彰



試合



開会式



競技運営支援



競技会場補助

本大会を通じて、大会の円滑な運営に寄与するとともに、自衛隊に対する更なる理解と信頼を醸成することができた。また、銃剣道では、今後も長崎県の代表としての誇りを持って日々精進し、更なる高みを目指し邁進する。

本大会を通じて、大会の円滑な運営に寄与するとともに、自衛隊に対する更なる理解と信頼を醸成することができた。また、銃剣道では、今後も長崎県の代表としての誇りを持って日々精進し、更なる高みを目指し邁進する。

第16普通科連隊(連隊長 1等陸佐 土肥崇紀)は、令和6年10月7日(月)から14日(月)までの間、佐賀市富士しやくなげ湖水上競技場で開催されたカヌー競技大会を支援した。

本競技において、競技間の選手の完全監視、水難者の救護及び審判艇の操縦の支援を行った。

また、令和6年10月9日(水)から15日(火)までの間、大町町ひじり学園体育館で開催された銃剣道大会に、長崎県代表選手として参加するとともに大会全般を支援した。

### カヌー (競技支援)



支援準備



審判艇の操縦



救助中の隊員

## SAGA国民スポーツ大会 (16普連)

### 島原城登はん訓練 (16連隊)



ロープで支えながら石垣の除草作業を行う隊員



登はん訓練後の島原城



装備品展示

第16普通科連隊は、令和6年12月2日(月)から4日(水)までの間、長崎県島原市において今年「築城400年」を迎えた島原城で、令和6年度登はん訓練及び石垣の清掃活動を行った。

本訓練は、登はん訓練を兼ねて1997年から実施している恒例行事であり、今年度で46回目となった。11月25日(月)には、第16普通科連隊第1中隊のレンジャー隊員が教官となり、訓練参加者に対する事前訓練を行い、垂直降下・機材使用の要領について教育した。

当日は、高さ4〜18mの垂直に近い城壁の石垣にロープで釣り下がり、垂直降下(座席垂直)及び特殊卸下(リペリング)を行い、スキなどの雑草を手際よく刈り取りすっきりした姿を取り戻した。また、装備品展示により地域の方々から自衛隊の車両に触れてもらったり、本訓練を通じて、登はん能力の練度向上及び地域住民の自衛隊に対する理解と信頼を深めることができた。

### 連隊射撃競技会 (16連隊)

第16普通科連隊は、令和6年11月28日(木)から29日(金)までの間、大村射場において、令和6年度連隊小火器射撃競技会を行った。

開会式の統裁官訓示では「実戦を意識した迅速かつ正確な射撃」「チームワーク」「健康管理、安全管理及び武器管理の徹底」の要望事項を掲げ競技会を開始した。

競技会は、1日目に小銃射撃の部(200m立姿及び中間姿勢による分隊射撃)、2日目に機関銃射撃の部(銃身交換を伴う組射撃)で競われ、小銃及び機関銃の射撃精度、迅速な操作手順、チームワークが試される競技会となった。各中隊が日頃の訓練の成果を発揮し、白熱した戦いとなった。

小銃射撃の部、機関銃射撃の部の両方で、重迫撃砲中隊が見事優勝し、併せて総合優勝の成績を収めた。本競技会で得た教訓事項を糧に、更なる精進化を目指して邁進する。



小銃射撃



開会式 統裁官訓示



開会式 表彰



機関銃射撃

### 令和6年度戦闘戦技競技会 (4施大)



射撃前安定点検



持続走競技会 開会式選手宣誓



射撃



3000m出走



射撃競技会 優勝 本部管理中隊



持続走競技会 優勝 第2中隊

第4施設大隊(大隊長 2等陸佐 赤尾広徳)は、令和6年度戦闘戦技競技会を中隊対抗競技として、持続走、射撃及び炊事競技会を計画し、それぞれの部隊精進化を目指している。これまで、令和6年11月7日(木)持続走競技会を、同年11月22日(金)射撃競技会を行った。

競技開始にあたり二丸、不断の努力の成果を發揮せよ、「安全管理を徹底せよ」の2点を要望し、本年度競技会緒戦の榮譽を勝ち取るべく一致団結し、活き活き躍動するよう隊員を激励した。

持続走競技会は、3000m走(個人走)による競技が行われた。各種訓練等の制約により限られた練成期間であったが、日頃の訓練で培った体力とチームワークが実を結び、見事、第2中隊が優勝した。全員が息を合わせた走りを見せ、中隊平均タイム11分43秒という素晴らしい記録を出した。隊員たちは、達成感に満ち溢れた表情を浮かべた。

また、射撃競技会においては、基本射撃(6、7習合)で中隊対抗の部及び個人の部により競技し、各中隊から選出された選手が競い合った。個人の精度とチームワークの両面で高い技術を発揮した本部管理中隊が15年ぶりに優勝を果たした。

両競技会を通じて、隊員の体力強化及び団結力を深める場となった。また、各中隊は令和7年1月10日(金)に行う大隊炊事競技会に向けて引き続き日々精進する。